

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月25日 ( 第1回 )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	愛南町 ( 506 )
地域名 (地域内農業集落名)	和口地域 ( 和口 )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	23.33 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	23.33 ha
② 田の面積	3.35 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	19.98 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	9.67 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域は中山間地域にあり、主に急傾斜地の水田では水稻を栽培し、樹園地では柑橘(河内晩柑等)を栽培している。また、集落で中山間地域等直接支払交付金制度に取り組み、農地の保全管理等は行っているものの、高齢化や後継者不足により今後農業者の多くは離農や規模縮小することが想定され、後継者不在の農地が遊休化するおそれがある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻の裏作としてブロッコリー等の作付を推進し、通年ではなく裏作に特化した利用権設定等も地区の中で周知し、水田の活用率と担い手の所得向上に繋げる。  
 果樹については、河内晩柑を中心とした柑橘栽培を行っていくが、老木化などによる収量の低下が進むおそれがある。そのため、補助事業等を活用し、園地の若返りや作業効率の向上を図る必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
今後、高齢等により営農困難となった農地については、集落内において、地域内の農業を担う者を中心に集積が行えるよう話し合いを行う。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	34.8	%	将来の目標とする集積率
			34.8 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
具体的な目標は未定			



5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

# 目標地図（和口地域）

